

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 6 月 1 日 (2017.6.1)

【公開番号】特開 2015-224221 (P2015-224221A)

【公開日】平成 27 年 12 月 14 日 (2015.12.14)

【年通号数】公開・登録公報 2015-078

【出願番号】特願 2014-110186 (P2014-110186)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/73 (2006.01)

A 6 1 K 8/31 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 Q 1/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/73

A 6 1 K 8/31

A 6 1 K 8/37

A 6 1 Q 1/06

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 4 月 14 日 (2017.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

次の成分 (A)、(B)、(C) 及び (D)：

(A) 主鎖にセルロース骨格を有し、全水酸基の 45 ~ 65 mol% が基 - O - M - R (M は  $\text{CH}_2$  又はカルボニル基  $\text{C} = \text{O}$  を示し、R は炭素数 3 ~ 40 の直鎖又は分岐鎖のアルキル基又はアルケニル基を示す) で置換されているセルロース誘導体 0.01 ~ 20 質量 %、

(B) 揮発性の炭化水素油 1 ~ 40 質量 %、

(C) 25 で固形のワックス 5 ~ 40 質量 %、

(D) 25 で液状であって、分子内に水酸基を 1 個有するエステル油 5 ~ 40 質量 %

を含有し、成分 (B) 及び (D) の質量割合 (B) / (D) が、0.05 ~ 4 である油性化粧料。

【請求項 2】

成分 (A) において、R が炭素数 9 ~ 21 の直鎖又は分岐鎖のアルキル基又はアルケニル基である請求項 1 記載の油性化粧料。

【請求項 3】

成分 (B) が、35 ~ 87 の引火点を有するものである請求項 1 又は 2 記載の油性化粧料。

【請求項 4】

成分 (D) が、リンゴ酸ジイソステアリル、ヒドロキシステアリン酸 2 - エチルヘキシル及びリシノレイン酸オクチルドデシルから選ばれる 1 種又は 2 種以上である請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項記載の油性化粧料。

【請求項 5】

成分（Ａ）及び（Ｂ）の質量割合（Ａ）／（Ｂ）が、０．０１～３である請求項１～４のいずれか１項記載の油性化粧料。

【請求項６】

成分（Ｂ）、（Ｃ）及び（Ｄ）の合計量に対する成分（Ｂ）の質量割合（Ｂ）／（（Ｂ）＋（Ｃ）＋（Ｄ））が、０．０３～０．８である請求項１～５のいずれか１項記載の油性化粧料。